

2023年度 鈴鹿市立庄野小学校

学校経営改革方針

<めざす子どもの姿>
「自己実現と人との協働により、豊かな未来を創る力を備えた鈴鹿の子ども」

<基本理念めざす子ども像>
「鈴鹿を愛し、子どもの学びと安全・安心を支え、絆で育む鈴鹿の教育」

学校教育目標

ともに学び合い 心豊かに たくましく生きる子の育成

学校テーマ

学び合い 心響き合う学校

自分の考えを、わかりやすく伝えあう子どもの育成～全教科全領域を通して～

校内研究主題

めざす子ども像

- ・ ともに学び合い自分の思いを表現できる子
- ・ 人とのかかわりを通して、思いやりのもてる子
- ・ 心と体を大切にす心身ともにたくましい子

めざす教師像

- ・ 「子どもは宝」子ども第一に考え行動する教師
- ・ 「授業で育てる」授業を大切に、授業を通して子どもの資質・能力の成長（人格の完成）を支援する教師
- ・ 「一人ひとりが経営者」学校経営に参画し、組織的な学校づくりを担う教師
- ・ 「対話と気づき」による教育活動の公開・改善に努める教師

教職員全員で、ともに築く学校づくり

学び合い、自分の思いを表現できる子を育てる学校

自他を大切にし人との関わりを通して、思いやりのもてる子を育てる学校

基本的な生活習慣を身につけ、心と体を大切にす子を育てる学校

児童・教職員・保護者・地域がひとつになった学校

教職員自らも成長し続ける学校

学校教育目標達成に向け、5つの力の推進向上に教職員一丸となって取り組みます

- ・ 様々な角度からの学校評価
- ・ 学校経営参画と自己評価の進展
- ・ 相互評価による授業力向上

学ぶ力

確かな学力の向上をめざし、基礎基本の力を鍛え、自主的・意欲的に学び合う授業づくりに取り組みます。

人権力

人権尊重の意識を高め、自他を大切にすあう心情を育み、心豊かなつながりづくりに取り組みます。

健康・安全力

基本的な生活習慣の定着を図るとともに、健康な心と体づくり、規範意識の向上に取り組みます。

地域力

学校・家庭。地域との協働を図り、コミュニティスクールの推進に取り組みます。

組織力

教職員の和を大切にすし、対話に努め、日々の教育活動の改善に取り組みます。

行動計画

- 研究主題に向けての取組
 - ・ 全ての教科で学び合いを通して「わかる授業」を創造する
- 学年に応じた学習規律の確立
- 学力向上の取組
 - ・ 全国学力学習状況調査及びみえスタディ・チェックの活用、学習時間ぐんぐんアップ活動
- チャレンジタイムの実施
- 家庭学習の手引き
- 読書活動の充実
- すずか夢工房等
- ICTを活用した授業

行動計画

- 教育的不利の立場にある子や課題を抱える子を中心にした学級作り
 - ・ レポート研修会（2回）
- いじめのない楽しい学校づくり
 - ・ いじめ調査（年3回）
- 異年齢集団活動の充実
- 主体的な児童会活動
- 外国籍児童への支援
- 特別支援学級・学校との交流
- 福祉活動の充実
- 教育相談の充実
- 不登校対応

行動計画

- 「学校のきまり」や5つの重点項目の共通理解と指導の徹底
- 基本的な生活習慣の定着
- 主体的な児童会活動
- 健康な体づくり
- 家庭・学校・地域連携のあいさつ運動
- 健康安全指導
- 食育の指導
- 登下校の安全確保
 - ・ 庄野小パトロール隊
 - ・ 防犯ホイッスル
- 交通安全教室
- 防災防犯教育と訓練

行動計画

- 家庭や地域に開かれた学校
 - ・ 各たより等の充実
 - ・ ホームページの更新
 - ・ 年3回の学校公開
- 学校運営協議会の充実
- 地域との交流学習推進
- 学校支援ボランティア
- 家庭との情報共有
- 中学校区小中連携
- PTA活動との連携

行動計画

- 機能的な運営組織の確立
 - ・ 学年部や分掌で熟議し、組織的な企画立案運営ができるように意識する。
- 全職員による校内研修の充実
 - ・ 各学年で公開授業を実施する。
- 勤務縮減に向けた会議や行事の精選や見直し、ICT機器の校務での活用
- コンプライアンス意識向上をめざし、何でも話せる職場づくり
- 学校評価や学校関係者評価の活用

達成目標

- 学力（調査数値：全国学調国語算数の向上（平均に到達））
- 児童「学校が楽しい」80%以上
- 児童「学校の授業が分かる」80%以上
- 児童「家庭学習」95%以上
- 読書目標一人年間35冊
- 「夢工房」を含め外部講師招聘12回以上（各学年実施）

達成目標

- 児童「学校が楽しい」80%以上
- いじめ調査後の迅速な対応見守
- 保護者「いじめのない楽しい学校づくりに努力している」50%以上
- 保護者を交えての「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」作成の推進

達成目標

- 児童「学校のきまりを守っている」90%以上
- 保護者「保護者の相談に親切に対応しているか」否定回答0
- 家庭・地域と連携した挨拶運動の継続実施（強化週間を含む）
- 交通安全教育の実施、充実
- 登下校時の交通事故0
- 避難訓練と防災学習の充実

達成目標

- 保護者「教育方針や取組をわかりやすく伝えている」50%以上
- 学校運営協議会年間6回実施
- 学校支援ボランティア（学習支援、環境、読み聞かせ、パトロール隊）の充実と拡充
- 各学年地域交流学習を年間1活動以上実施（100%）
- 中学校区小中連携を行う
- OPTA活動への職員参加100%

達成目標

- 保護者「学校は、一人ひとりに力をつける取組をしている」50%以上
- 全学年部で1回以上公開授業を実施し、事後検討会を実施する。
- 放課後に開催され60分以内に終了する会議の割合70%
- 定時退校日を毎月2回実施し、設定した日の定時に退校できる職員の割合90%

重点内容

三重の教育を持続的に、更に発展させていくため、働き方改革を一層推進します。
（総勤務時間縮減に向けて：①1人当たり月平均時間外労働30時間以下、月45時間を超える時間外労働者の延べ人数0人②1人当たりの年間休暇取得日数22日以上）

学力向上・体力向上に取り組みます。

職員一丸となって不登校対策に取り組みます。

ミドルリーダーの養成、若い世代の育成、組織力向上に取り組みます。